

笑顔と

神奈川県立金沢支援学校

やさしい心



学校だより

かなざわ

第 192 号 令和 5 年 7 月 21 日

『1学期ありがとうございました。』

教頭 茂内 俊郎

7月20日(木)に本校、横浜氷取沢分教室それぞれで終業式があり、令和5年度1学期が終わりました。今年度は、5月8日(月)に新型コロナウイルスが5類に移行したことを受け、金沢支援学校も少しずつ以前の学校生活に戻ってきました。

子供たちにとっては何よりも学校プールの再開がうれしかったことと思います。学部・部門等によって回数は異なりますが、待ちに待ったプールに入水した際には満面の笑みを見せていました。夏休み明けも10月初旬まで予定している学年があります。

保護者等の皆様におかれましては、個別面談や授業参観等、学校にお越しいただきありがとうございました。2学期には、修学旅行(小AB・中AB・高A)や遠足等の校外行事とともに各学部で学習発表会を計画しています。詳細については、お知らせをお待ちください。引き続きご協力よろしくお願いたします。

6月に行った学校説明会では、今年もたくさんの生徒や保護者の方に来校いただきました。今年度は校内見学も再開し、本校は県立特別支援学校の中では比較的新しい学校ですが、15年積み重ねてきた実績、歴史を感じていただけたかと思えます。

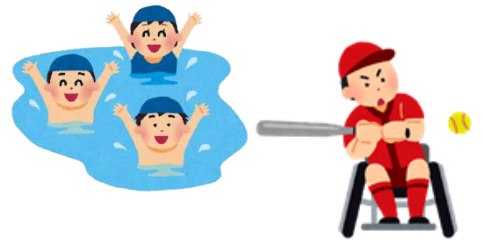
現在「学校へ行こう週間」の申し込みを受け付けております(8月18日まで)。近隣地域にお住まいの方、特別支援教育に興味のある方、特別支援学校ってどんなところか興味のある方など、お申し込みをお待ちしております。

平日の施設開放の再開等、地域に開かれた学校に向かって改めて動き出しています。学校運営協議会の記録でも少し触れていますが、今後後援会の設置も予定しているところです。

保護者等の皆様、地域の皆様、引き続き本校の教育活動にご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



A部門紹介



小学部

今年度は久しぶりに水泳指導が行われたり、2階への行き来が自由になったりと、子どもたちの活動の幅や範囲がぐっと広がりました。5・6年生にとっては久しぶりの活動、1～4年生にとっては初めての活動がたくさんあります。子どもたちの明るく元気な声も昨年度よりずっとずっと大きくなっているように感じます。

新入生2名と転入生1名を加え、30名全員が楽しい1年になるよう、子どもたちと教員と力を合わせて取り組んでいきます。ご協力と応援をお願いします。

(小A学部長 本田 和代)

中学部

今年度中学部は1・2年生の混合クラスと2・3年生の混合クラスの2クラスで構成されています。学部全員で行っている授業も多く、みんなで中学部ファミリーという感覚です。最近の授業内容を報告すると、生活では、人工で雨を降らせて傘をさしたり、氷釣りをしたりしました。体育ではゴルフをしてプロ顔負けのフォールインワンを目指しました。音楽では中学部らしく洋楽に合わせて演奏したり、ダンスしたりもしています。

これからも仲良く積極的に、色々なことにチャレンジしていきたいです。

(中A学部長 軽部 かおる)

高等部

新入生6名を迎え、2年生4名、3年生5名の総勢15名で、令和5年度が、新たにスタートしました。そして、1年生は初めての校内実習となりますが、6月19日から2週間、みんなで社名を考えた会社「高Aしあわせソーブ」で、仕事分担しながら石けんを作っています。石けんの原料を削る班、溶かす班、計量・包装する班とみんなで力を合わせて手作りした石けんは、まるで宝石のようにきれいです。販売の練習もして皆さんに、見ていただけるように頑張ります。これからの1年間みんなの笑顔とチームワークを大切にしてお過ごししていきたいと思います。

(高A学部長 手塚 嘉美)



新年度がスタートし、あっという間に7月を迎えました。

今年度は、プールの授業をはじめ、いろいろなことが復活してきています。プールで気持ちよさそうな表情の子どもたちをみて、先生たちも幸せな気持ちになっています。

学校ではいろいろな学習、体験をします。その時の楽しい気持ち、頑張った時の達成感など、そのひとつひとつの積み重ねが、子どもたちの力になっていくと思います。これからも、金沢の子どもたちへの応援をよろしくをお願いします。

(A部門長 三宅 優子)